

【代表的な研究テーマ】

□ 環境移行と学校適応

□ 学校適応と生徒指導

Keyword：学校適応と生徒指導、児童期、思春期、環境移行、発達

研究の概要

1つ目は、小・中学生の問題行動といった学校適応に関する研究です。小・中学生の問題行動に対して、教師はどのように関わることが必要なのか、生徒指導との関連について調べています。

登下校や休み時間などのちょっとした隙間のような時間に、教師が子どもに声をかけるといった関わりを持つことが学校適応感を促進する上で重要なことが分かりました。

2つ目は、学校統廃合と学校適応に関する研究です。自分が所属している学校がなくなることを、子ども達はどのように捉えているのか、学校統廃合を子どもの視点から捉えました。

公立中学校における統廃合のケースでは、規模の小さい学校出身の中学3年生において、統廃合前後でストレス感の上昇や学校享受感の低下が明らかになりました。学校統廃合による環境の変化に戸惑っている生徒が一部にいたことが分かりました。

3つ目は、小中一貫教育と学校適応に関する共同研究（代表：和光大学梅原利夫）です。小中一貫校は、子どもの発達にどのような影響を及ぼすのかを非一貫校と比較しながら調べています。小中一貫校の場合、小学校高学年から中学校文化が前倒しされている可能性など、小中一貫校が持つメリットとデメリットが明らかになっています。

アピールポイント

1歳児健診や3歳児健診の発達相談員や小中学校での相談員など、実践とのつながりを持ちながら、「片手に理論、片手に実践」を意識して調査を進めてきました。

関連書籍等：

金子泰之 2018 中学生の学校適応と生徒指導の研究 ナカニシヤ出版

大久保智生・牧郁子編著 2018 教師として考え続けるための教育心理学 ナカニシヤ出版（環境の変化と学校適応p110-p115を執筆）



金子 泰之

学術院融合・グローバル領域
教職センター
講師

■ 相談に応じられる関連分野

- ・小・中学生の学校適応について
- ・学校統廃合などの環境移行について
- ・小中一貫について

■ その他の社会連携活動

- ・心理学からとらえた万引き防止対策
- ・東京都青少年規範意識調査（監修）
- ・東京都内小学校校内研修